

(別紙報告様式)

鳥獣被害防止総合対策事業の評価報告(令和8年度報告)

市町名：府中市

1 事業評価報告

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績												事業実施主 体の評価	
										獣種	被害金額				被害面積				処理頭数				
											現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値		達成率
府中市有害鳥獣捕獲協議会	市内全域	R5年度	イノシサル	ICTを用いた大型囲いわなパイプ連結式箱わな	1基 1基	府中市有害鳥獣捕獲協議会	R5.7.12 R5.7.12	100% 100%	ICTシステムと大型囲いわなの組み合わせにより、有害鳥獣の捕獲体制を拡充することができた。	イノシサル	384万円	297万円	225万円	183%	4.18ha	3.14ha	0.21ha	382%					対象鳥獣について、被害金額、被害面積はいずれも減少傾向にある。今後についても被害の減少に向け、集落ぐるみでの環境改善、侵入防止、捕獲の総括的な取り組みを推進していきたい。
		R6年度	イノシシ	パイプ連結式箱わな	4基		R6.8.29	100%	箱わなの数量を充実することにより、捕獲体制の拡充が図れた。	イノシシ	369万円	295万円	212万円	212%	4.07ha	3.11ha	0.21ha	402%					
		R7年度	イノシサル	大型囲いわな	1基		R8.1.10	100%	大型囲いわなの増設により、捕獲体制の拡充が図れた。	イノシサル	384万円	297万円	225万円	183%	4.18ha	3.14ha	0.21ha	382%					
			イノシシカサル	(緊急捕獲)有害捕獲	166頭 31頭 13頭				有害鳥獣の駆除により農作物被害の防止・低減につながった。	イノシシカサル													

注1)被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載してください。

注2)達成率の算出方法については「実績値(＝基準年値－実績値)／目標値(＝基準年値－目標値)」であるとして算出してください。

注3)被害防止計画の目標と実績の処理頭数の欄については、「ジビエ等の利用拡大に向けた地域の取組(販売拡大支援)」のメニューを活用した場合に記載してください。

2 第三者の意見

コメント:コメント:一般社団法人広島県鳥獣対策等地域支援機構 本部マネージャー 檀上 理沙 ICTシステムと大型囲いわなを組み合わせた捕獲体制を構築しており、対象鳥獣の効果的な捕獲活動の推進が図れている。また、捕獲効率の向上のみに留まらず、侵入防止柵設置支援事業にてソーラー式電気柵の普及を行ったり、緩衝帯整備事業を複数個所で実施したりするなどの総合的な被害防止対策を講じていることから、一定の鳥獣被害を抑制する効果を発揮していると評価できる。 一方で集落や農地付近では、野生鳥獣を誘引する要素となる放任果樹が残存する地区や、新たにシカによる被害が発生し始めた地区も存在するため、今後も継続して獣種や地形等に応じた適切な侵入防止対策の推進と環境整備に関する活動、および加害個体の捕獲活動を推進し、野生鳥獣による被害が軽減していくことを期待する。
--

注)第三者の名前・所属・役職等を記載のこと。